

令和7年度 宇都宮市の予算

「スーパースマートシティの具現化・深化」を目指して

令和7年度
一般会計当初予算
2,406億
3,000万円

本市経済の着実な成長や物価高騰などに適切に対応しながら、将来にわたって成長力を確保できるよう「未来への投資」に積極的に取り組んでいくため、まちの魅力や活力、存在感を高め、新たなまちづくりの担い手の増加や企業の定着を促進する好循環を生み出す「国内屈指の魅力と活力、存在感を備えるまち」の実現を目指すとともに、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ(※1)」の具現化・深化を果たす予算としました。

問 財政課 ☎ (632) 2063

令和7年度予算のポイント

本市の活力の源である「人」づくりの推進 568億円

■子育て世帯の負担軽減

▼小中学校や保育施設などにおける給食費の支援。

■乳幼児の健やかな成長

▼5歳児を対象とした健康診査の実施。

■高校・大学進学希望をかなえる支援

▼奨学金制度の拡充(所得制限の撤廃、対象者の拡大、大学など受験一時金の創設)。

■児童虐待防止対策の推進

▼ヤングケアラー実態調査の実施。
▼児童相談所の設置に向けた検討。

■子育てしやすい環境の整備

▼全天候型子どもの活動の場の拡充に向けた検討。

■教育・保育施設などの供給体制の確保・保育サービスの更なる充実

▼保育士の処遇改善の実施に伴う保育園・認定こども



園などへの給付費の充実。

■ICT活用授業の推進

▼児童生徒用1人1台端末の計画的な更新(中学1~3年生)。

■小中学校などの整備

▼校舎・体育館の長寿命化工事やトイレ洋式化工事。

▼中学校武道場への空調設備の導入。

▼冒険活動センターの大規模改修工事。

■女性活躍の推進

▼女性活躍担当専門員の任用。

▼フェムテック製品・サービスの活用を促進するための企業向け理解促進セミナーの開催。

▼30・35歳女性への子宮がん検診におけるHPV検査の導入と自己負担額の無償化。

■スポーツ施設の整備

▼東部地域における屋内プール整備の検討。

▼ブレックスアリーナ宇都宮の改修。

「魅力ある都市空間」の形成と「公共交通ネットワークのフル活用」 323億円

■JR宇都宮駅西口周辺地区整備の推進

▼JR宇都宮駅西口駅前広場整備に向けた検討。

■都心部におけるまちづくりの推進

▼大通り沿線の魅力ある景観の創出。

▼八幡山公園の魅力向上に向けた事業の実施。

▼民間によるパルコ跡の利活用を契機としたまちのにぎわい創出に係る調査。

■ライトライン沿線におけるまちづくりの推進

▼「アークタウン宇都宮」の整備(令和8年3月開園)とオープニングイベントなどの開催。

■公共交通ネットワークの充実・強化

▼ライトライン停留場における駐輪場の増設。



▼JR宇都宮駅西側における軌道事業の特許取得に必要な「軌道運送高度化実施計画」の策定。

▼公共交通の乗継利便性向上に向けたモビリティハブ機能の充実。

■公共交通の利便性向上と利用促進

▼「市内のどこから乗ってもどこまで行っても片道500円」制度の導入。

■円滑、快適、安全・安心な道路づくりの推進

▼都心環状線の開通(令和8年3月)。

▼(仮称)大谷スマートインターチェンジの整備。

■質の高い上下水道サービスの提供

▼給水スポット「宮の泉」・「学校版宮の泉」の設置。

▼PFAS^{ビープラス}検査体制の強化。

▼漏水対策事業の推進。

※1 「NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)」を土台に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」のこと。

※2 スポーツオープンインベーションプラットフォームの略。

スポーツ・文化・地域資源等を 最大限活用した「都市の魅力創出」 19億円

- スリーエックススリー
「3x3のまち宇都宮」の推進
- ▼ 「FIBA 3x3ワールドツアー宇都宮
オープナー2025」の開催(4月)。
- スポーツを活用した地域活性化
- ▼ スポーツの新たな価値を創出するための産学官連
携によるプラットフォーム「(仮称)みやSOIP^{ソイップ}(※2)」の
運営支援。
- ▼ アーバンスポーツ国際大会の開催に向けた誘致活
動の実施。
- 個性豊かな観光と交流の創出
- ▼ ろまんちっく村再整備基本計画の策定。
- ▼ 大谷景観公園の再整備。
- 暮らしに息づく文化の継承・創造・活用の推進
- ▼ 大谷の文化的景観整備活用計画の策定。
- ▼ 指定文化財のアーカイブ化と歴史・文化デジタル
ミュージアムの開設。
- ▼ うるま市との文化交流事業の実施。



©3x3のまち宇都宮
推進委員会

絆を深め、共に支え合う 「地域共生社会」の構築 291億円

- 高齢者の生きがいづくりの推進
- ▼ 老人福祉センターなどにおけるeスポーツ体験会の
実施。
- ▼ 買物支援と交流機会の創出に向けた移動販売の導
入・拡充に対する助成。
- 障がい者・介護者の生活の充実
- ▼ 「親なき後」に備えるための介護者・保護者に対
する講演会や個別相談会および支援者に対する研
修会などの実施。
- 感染症対策の推進
- ▼ 带状疱疹ワクチンの定期予防接種化。
- 自治会の活動の支援・活性化
- ▼ 地区版シンポジウムの実施。
- ▼ 自治会の加入促進や活動の活性化に向けた取り組
みへの支援強化。

「各種産業の強み」を生かした 持続的に発展する社会の実現 193億円

- 企業立地・定着の促進
- ▼ 新たな産業団地の整備に向けた取り組みの推進。
- 中心市街地活性化の推進
- ▼ 中心市街地への喫煙所の設置。
- スマート農業・グリーン農業の推進
- ▼ いちご自動農薬散布機導入への助成。
- ▼ 生分解性マルチ・多年張被覆資材導入への助成。

「安全・安心」なまちづくりの推進 72億円

- 行政の危機対応能力・防災意識の向上
- ▼ 避難所の生活環境の向上に向けた
自走式水洗トイレカーの導入。
- ▼ 道路監視のさらなる強化に向けた
浸水センサ実証実験。
- 総合的な治水・雨水対策の推進
- ▼ 南部地域の公共施設における雨水貯留施設の検討。
- 消防・救急体制の充実
- ▼ 南部地域における災害対応拠点となる南消防署の
整備の推進。



市民・事業者・行政が一体となった 「脱炭素化」の推進 24億円

- 脱炭素先行地域の取組の推進
- ▼ 民間施設における太陽光発電設備・
蓄電池などの導入支援。
- 行政における取組の促進
- ▼ 公共施設におけるPPA事業による再エネ設備の導
入、照明のLED化の推進。
- ESG未来都市の推進
- ▼ 「2025大阪・関西万博 地方創生SDGsフェス」
への出展(5月)。



「デジタル技術」の利活用の促進 47億円

- 行政手続オンライン化の加速
- ▼ ファミリーサポートセンター事業の利用手続のオン
ライン化。
- ▼ 軽自動車税オンライン申告手続の拡充。
- 市民サービスのDX推進
- ▼ 有人チャットを活用したリモート相
談窓口の導入。
- デジタル社会基盤の強化
- ▼ 本市ポイント事業の一元化に向けた手法の検討。
- 行政業務のデジタル変革
- ▼ 介護認定審査会のオンライン化。
- ▼ 選挙の開票事務における投票用紙自動読取分類機
の導入。

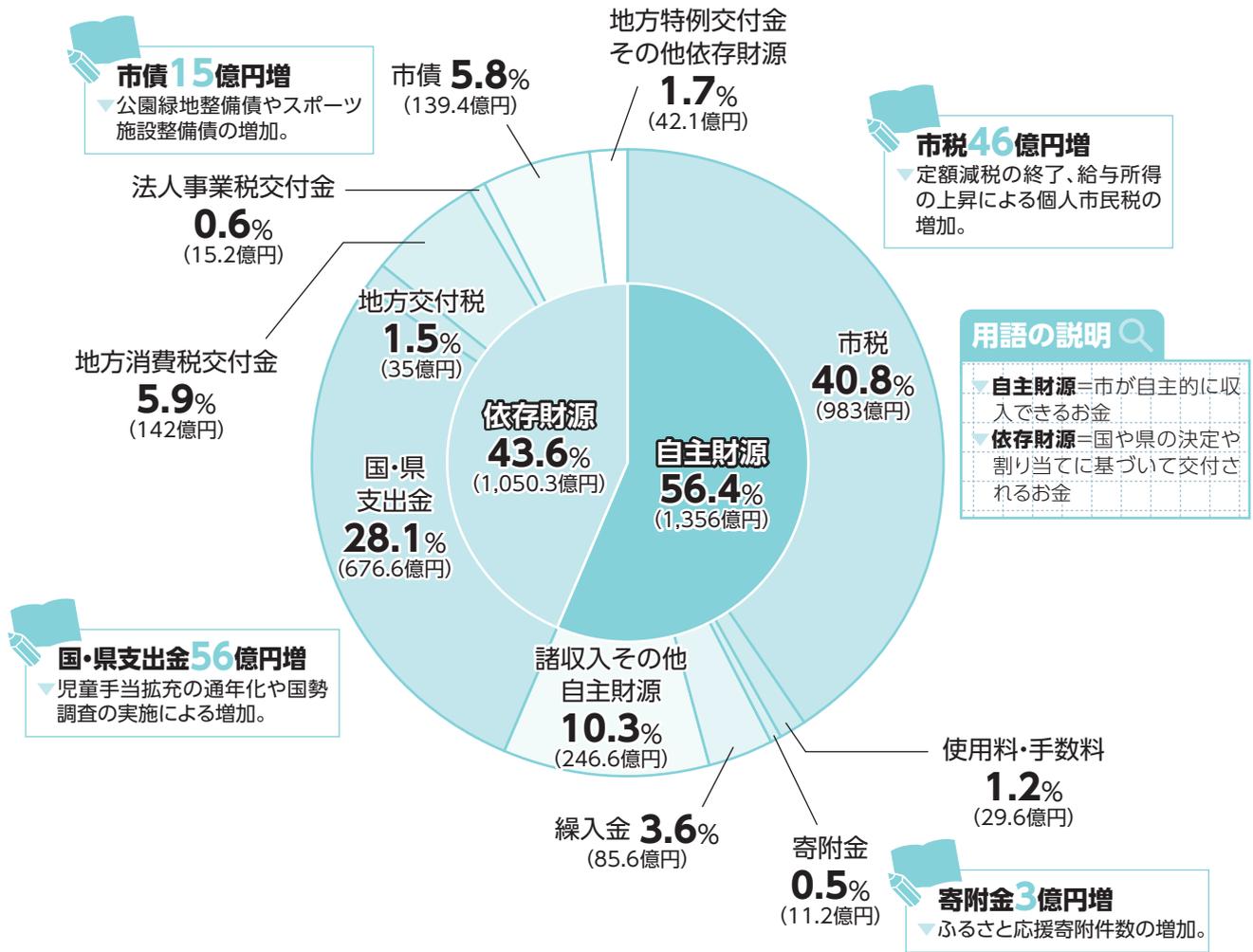


行政経営基盤の強化 36億円

- 新たな価値創造を図る行政経営の推進
- ▼ 行政事務の集約などによる業務効率化に向けた調
査・検討。
- 公共施設利用環境の充実
- ▼ 公共施設におけるトイレの洋式化・バリアフリー化
の推進。

歳入

●令和7年度一般会計予算の特色 令和7年度当初予算の規模は、令和6年度当初予算に対し、109.8億円、4.8%増の2,406.3億円となります。
 ※ 各項目の説明における増減額は、令和6年度当初予算との比較です。



市債残高	一般会計	1,406億円 (13億円増)
	全会計	2,185億円 (60億円増)

市債は、年度間の財政負担を平準化し、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担いただくために長期的に借り入れる資金です。道路や公園・学校などの公共施設を整備するために、長期的に借り入れる建設事業債などがあります。

今後も計画的に活用し、健全な財政運営に努めていきます。

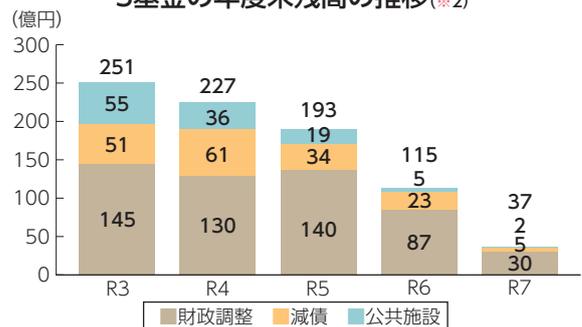
一般会計および全会計の市債の発行額と残高の推移 (※2)



基金残高 (※1) 37億円 (取崩額80億円)

基金とは、決まった目的のために積み立てている資金で、財政調整基金・減債基金・公共施設等整備基金などがあります。今年度は、物価高騰や賃金上昇の影響に対応しつつ、公共施設の老朽化対策や喫緊の課題である少子化対策に取り組むため、これまで積み立ててきた基金80億円を効果的に活用していきます。今後も将来の財政需要や社会経済状況の変化に対応できるよう、歳入の確保と歳出の抑制に取り組む、基金残高の確保に努めていきます。

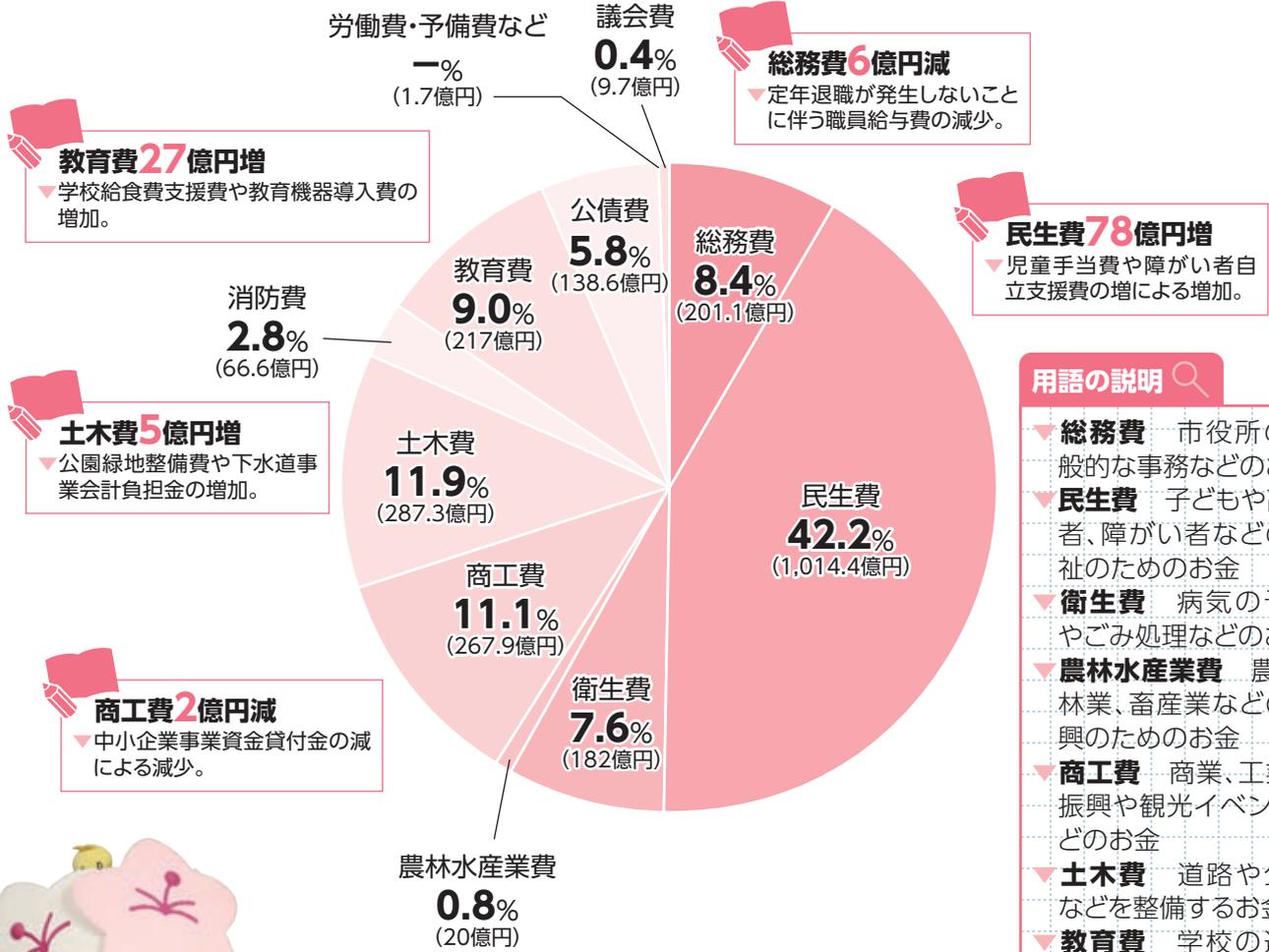
3基金の年度末残高の推移 (※2)



◎この特集の金額表示 増減額の表記は前年度の予算と比較したものです。また、表示単位未滿を四捨五入しているため、合計金額と合わない場合があります。

※1 財政調整のための3基金 (財政調整基金・減債基金・公共施設等整備基金) の合計。 ※2 令和5年度までは決算額、令和6年度は決算見込額。

歳出 (目的別)



教育費27億円増
▼学校給食費支援費や教育機器導入費の増加。

総務費6億円減
▼定年退職が発生しないことに伴う職員給与費の減少。

民生費78億円増
▼児童手当費や障がい者自立支援費の増による増加。

土木費5億円増
▼公園緑地整備費や下水道事業会計負担金の増加。

商工費2億円減
▼中小企業事業資金貸付金の減による減少。

- ### 用語の説明
- ▼ **総務費** 市役所の一般的な事務などのお金
 - ▼ **民生費** 子どもや高齢者、障がい者などの福祉のためのお金
 - ▼ **衛生費** 病気の予防やごみ処理などのお金
 - ▼ **農林水産業費** 農業、林業、畜産業などの振興のためのお金
 - ▼ **商工費** 商業、工業の振興や観光イベントなどのお金
 - ▼ **土木費** 道路や公園などを整備するお金
 - ▼ **教育費** 学校の運営や社会教育などのお金
 - ▼ **公債費** 借ったお金の返済のためのお金



詳しくは、市庁を見てね♪ ID 1010664

歳出 (性質別で見た場合)

義務的経費	その他の経費
1,182.6億円 (60億円増)	934.4億円 (22億円増)
扶助費 29.9%	物件費 15.7%
人件費 13.5%	貸付金 7.1%
公債費 5.8%	補助費等 8.7%
▼保育施設への給付費や障がい者自立支援費の増加。	繰出金 5.7%
投資的経費	積立金・出資金など 1.6%
289.3億円 (27億円増)	▼給食費負担軽減事業などの実施による増加。
普通建設事業費 12.0%	▼物価高騰や賃金上昇の影響への対応による増加。
▼アークトOWN宇都宮や北西部地域体育施設の整備、小中学校施設の長寿命化事業、道路整備の実施による増加。	

特別会計	1,284.8億円 (44億円増)		
企業会計	571.9億円 (60億円増)		
特別会計の特色			
▼被保険者数の増による介護保険特別会計の増加。			
▼車券発売収入の増による競輪特別会計の増加。			
特別会計	当初予算額	特別会計	当初予算額
国民健康保険	474.1億円	駐車場	1.2億円
介護保険	381.2億円	鶴田第2	6.8億円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	4.4億円	宇大東南部第2	12.7億円
後期高齢者医療	78.3億円	岡本駅西	5.8億円
競輪	318.1億円	育英事業	2.2億円
企業会計の特色			
▼設備解体や施設更新などによる下水道事業会計の増加。			
企業会計	当初予算額		
水道事業		233.1億円	
下水道事業		326.5億円	
中央卸売市場事業		12.3億円	